

LOCAL

第77回 日本公衆衛生学会自由集会 @福島の報告



患者目線

患者会からの報告 鈴木 牧子 がんピアネットふくしま 理事長

2018年10月25日、福島県郡山市での公衆衛生学会学術会議会場にて、「自由集会」が開催されました。学会長が、福島医大の安村教授であったことと関連して、福島のがん患者会ネットワークである当NPOがんピアネットふくしまに、演者も含めて協力の依頼がございました。J-CIPが、全国がん患者連合と締結して、広報していく事などは、地方にいる1団体としては、理解できておらず、昨年度鹿児島の実例から、全がん連理事が集結、講演するのを福島でも再現するだろうか?と感じました。ところが、演者も私の方でテーマにそってさがす、懇親会会場も・・・となると、さすがに福島県の為にじっとしていることはできず、本気になって動き始めました。

結果、福島医大MSWの渡邊美伊子さん、当NPO会員で薬剤師の浦山典子さんと、私が演者としてお話をさせていただきました。猿木理事長はじめ、担当の片山さんには、大変お世話になりました。今後、全国をこのような形で回ることを予定されて活動を続けるには、全がん連との連携や相互理解が、地方の団体との間に必須となるでしょう。

さて、日頃知ったお顔の先生たちもいて、懇親会の方は、とても和やかに楽しく交流できました。当NPO会員も「自由集会」

「懇親会」と参加されて、結果的には良い時間を共有することができました。



「がん登録」に対する患者目線からの、率直な意見も多くお伝え出来たかと、思います。

福島県は、とても広く、復興途上で感情問題さえ含む様々な課題も抱えています。

そのような中ではございますが、科学的分野の情報を学ぶ機会にめぐまれましたこと、感謝申し上げます、皆さまのますますのご活躍を祈念申し上げます。

J-CIPローカル

第2回目の活動報告 片山 佳代子 JACR監事 神奈川県立がんセンター臨床研究所

J-CIP目線



福島県郡山市のピックパレットふくしまで開催されたJ-CIPローカルの活動の一環である自由集会「Partnership ～がん患者と繋ぐこれからのパートナーシップ～」は今回も盛況のうちに終了することができました。それもすべてはNPOがんピアネットふくしま理事長の鈴木牧子さんをはじめ、患者会の皆様のご協力とご尽力の御かげであることは言うまでもありません。色々と不手際があったにもかかわらず細かいところまで行き届いたご配慮をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。

J-CIPローカルでは、都道府県ごとのがん情報を地域のニーズに根差した形で発信するために、まずはその地域の患者会とがん登録関係者が顔を合わせ、互いの存在や活動についてパートナーシップを築く「きっかけ作り」を目的にスタートしました。今回第2回目と活動はまだまだ浅い中で、福島のがん登録関係者、がん相談支援に携わる方、患者さん達、そして福島県

のがん対策を担う方々に集まっていただき、参加者も満席の状態を終了することができました。この自由集会でのご縁はwebサイトJ-CIPローカル福島県版の制作に生かしていけたらと考えています。

また、この場をお借りしてのご報告ですが、第3回目にあたるJ-CIPローカルの活動は、日本公衆衛生学会から日本癌治療学会へシフトチェンジしていく予定です。2019年の癌治療学会(福岡)は公衆衛生学会(高知)と日程が重なり、見送りましたが2020年は、もともと患者さんたちが多く参加される癌治療学会にて、再び患者さんたちとの協働での活動を企画したいと考えていますのでどうぞ、よろしく願いいたします。最後に、西へ東へとご多忙の中、全がん連理事長の天野慎介さんにも自由集会当日駆けつけていただき貫禄、安定の司会をご披露いただきましたこと、御礼申し上げます。